

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公開番号】特開2018-103043(P2018-103043A)
 【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)
 【年通号数】公開・登録公報2018-025
 【出願番号】特願2018-74380(P2018-74380)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月12日(2018.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤が収容される本体枠と、
 前記本体枠に対して開閉可能に設けられる扉枠と、
 前記扉枠に設けられ、遊技球を貯留可能な皿手段と、
 前記本体枠に設けられ、前記皿手段へと遊技球を送り出すための球誘導路と、を備え、
 前記球誘導路は、前記皿手段と対向する位置に第1開口部と第2開口部を有し、
 前記本体枠には、前記第1開口部および第2開口部に対応して開閉部材が設けられ、
 前記開閉部材は、前記扉枠の開閉に応じて回転することにより、前記第1開口部及び前記第2開口部を介して前記皿手段への遊技球の通過を許容する第1の状態と、前記皿手段への遊技球の通過を阻止する第2の状態と、が切り替わるものであり、
 前記開閉部材の回転軸は、前記第1開口部及び前記第2開口部の高さ方向の範囲内に設けられ、

さらに、

前記開閉部材は、前記第1開口部及び前記第2開口部を介しての遊技球の通過を阻止する前記第2の状態へと回転するための付勢力を付与する付勢手段によって、前記第1の状態から前記第2の状態へと回転可能とされる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

ところで、こうした遊技機において扉枠を本体枠に対して開放した時に球通路の開口部より遊技媒体の外部への落下を防ぐために、上下にスライドしてせき止める開閉部材を球通路の開口部前面に備えたものが知られている(特許文献1)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1の技術は、扉枠を本体枠に対して開放すると、開閉部材が上方に可動して遊技球をせき止めるものであり、扉枠を本体枠に対して閉鎖すると、開閉部材が下方に可動して球通路から皿ユニットへの遊技球の通行を許容するものであるため、球通路を開放する際は球通路より下方に開閉部材が移動することになり、球通路の出口より下方にシャッター部材を収納するためのスペースが必要となってしまう。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【特許文献1】特開2003-205155号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、開閉部材のために必要なスペースを縮小可能な遊技機の提供を課題とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に記載の発明は、遊技盤が収容される本体枠と、前記本体枠に対して開閉可能に設けられる扉枠と、前記扉枠に設けられ、遊技球を貯留可能な皿手段と、前記本体枠に設けられ、前記皿手段へと遊技球を送り出すための球誘導路と、を備え、前記球誘導路は、前記皿手段と対向する位置に第1開口部と第2開口部を有し、前記本体枠には、前記第1開口部および第2開口部に対応して開閉部材が設けられ、前記開閉部材は、前記扉枠の開閉に応じて回転することにより、前記第1開口部及び前記第2開口部を介して前記皿手段への遊技球の通過を許容する第1の状態と、前記皿手段への遊技球の通過を阻止する第2の状態と、が切り替わるものであり、前記開閉部材の回転軸は、前記第1開口部及び前記第2開口部の高さ方向の範囲内に設けられ、さらに、前記開閉部材は、前記第1開口部及び前記第2開口部を介しての遊技球の通過を阻止する前記第2の状態へと回転するための付勢力を付与する付勢手段によって、前記第1の状態から前記第2の状態へと回転可能とされることを特徴とする

本願は、その他下記各手段も有している。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

このように、本発明によれば、開閉部材のために必要なスペースを縮小可能な遊技機を提供することができる。